

市政発展に貢献した功績をたたえて — 市政功労者表彰式を開催しました —

長年にわたり、市の発展と市民生活の向上のために、多大な貢献をされた方の功績をたたえ、11月18日に仙台国際センターで市政功労者表彰式を開催しました。当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を限定し、特別市政功労者9人と市政功労者35人を表彰しました。永年勤続委員203人の表彰は、11月中旬より順次行っています。

対象の方は次の通りです(順不同、敬称略)。

◆特別市政功労者(本市の振興発展に著しく寄与された方) 後藤久幸、今野敦之、野島稔、里見進、鈴木新太郎、植田克己、阿部一彦、岩沼徳衛、水野紀子

◆市政功労者(本市の振興発展に寄与された方) (自治・消防功労) 菅井昇、加藤幸夫、足利允鴻、小野寺彰、石垣喜美雄、根本武久、吉澤秀晃、太田階、古川浩裕、福士定男、後藤郁雄、野又勝行、松岡幸雄、牛坂勝、高橋喜悦、伊藤桂子、星美貴世、片岡昭夫、石川和男、齋藤弘(健康・福祉功労) 松坂尚、三澤祐子、小林良子、佐

藤研、折腹實己子(産業・経済功労) 小松敬藏、亀井富保、宮崎佳巳、栗原憲昭、阿部幸悦、藤原直(教育・文化功労) 原和子、佐藤眞三郎、上野隆士、佐藤静

◆永年勤続委員(委員として10年以上にわたり市政の推進に寄与された方) (仙台市情報公開審査会委員) 中林暁生(人権擁護委員) 大江英俊、阿部千恵子(仙台市福祉整備審議会委員) 石井敏(民生委員児童委員) 菊地厚子、二瓶美津子、鎌田雅敬、菅野英太、荒谷千鶴子、根本健二、吉川卓郎、龍田由美、佐藤とき子、室月都子、石田とよ子、川村和司、島貫和子、石川貞子、齋藤榎雄、大森美和子、木村和子、佐々木尚子、岡本仁子、中島たけみ、佐々木圭子、宮澤千賀子、小野邦子、松井誠二、高橋光範、大柳弘、高橋和彦、浅野ツエ子、佐藤嘉一、長谷川光子、高橋正義、石垣かほ子、大和田貫也、仲嶋正雄、秋葉郁子、熊谷優子、武田よし子、松谷せつ子、橋場幸子、高橋孝子、濱名ユウ子、石川淳一、亀すみ子、高畑信子、高橋幸子、田頭ミチヨ、小澤恵子、吉

田嘉子、佐々木一之、木津谷恭規、穴戸淳子、横田孝子、北村志保子、千葉義治、佐藤和子、千葉久子、渡邊正幸、広瀬由美子、早坂としえ、金野由美子、伊藤恒雄、渥美幸子、百目鬼憲一、遠藤喜信、土屋定子、鈴木善富、佐藤憲子、高橋八子、三浦君子、育村みどり、柿澤信子、笹昌子、立花裕美、大塚健、津田早苗、小野裕子、齋藤徹行、升谷薫、松山眞理子、木村和子、小野寺昌子、設楽志保子、二瓶陽子、渡邊美智子、西條義男、遠藤浩子、中村康生、菊池健一、遠藤美代子、小林幸子、佐藤宏美、菅原喜美子、杉本節子、安齋奈美子、庄子保志、藤田留美子、梅津眞理子、佐藤優子、大竹正記、似内ひで子、繁野みどり、鎌田美知子、布川榮子、木村幸子、寺崎有美、門間勝、遠藤まり子、板橋葉里子、川田節子、大友恵理、菊地ミヤ、曾我ふく子、村井紀代、渡邊貞子、嶺岸健治、鶴山勝利、高木京子、佐々木豊、沼田信太郎、赤間満夫、萱場久悦、西本久子、阪野雅之、川島浩美、小野文男、日下光雄、石川豊、鈴木千恵子、嶺岸義雄、石川厚子、中川智子、伊藤泰子、金子公子、安保孝子、木城和夫、蝦名博征(仙台市障害支援区分判定等審査会委員) 興野春樹、大山さく子、松野一江、鈴

木陽子、古瀬歩、吉田和史(仙台市障害者自立支援協議会委員) 伊藤清市、黒澤哲(仙台市介護認定審査会委員) 阿部紀子、荒井正美、石橋賢太郎、今井豪、小野めぐみ、菊地泰枝、木村一則、穴戸智恵、篠原千佳、高城幸子、高橋典子、千葉美和、飛田豪、福壽岳雄、三浦啓伸、目黒敦、森川昭正、山口龍生、渡邊修一(仙台市動物愛護協議会委員) 佐藤衆介(仙台市環境影響評価審査会委員) 風間聡、山崎剛、山田一裕(仙台市廃棄物対策審議会委員) 松八重一代(仙台市スポーツ推進委員) 小笠原嘉代子、遠藤和子、奥山重男、阿部淳、高野久栄、三浦英美、藤田善六、畑山みつ、立花資富、浅野つや子、笠原雄瑞、上村謙一郎、丹野友信、藤田俊之、熊谷英男、千葉敏明、草敦子、庄司しん子、針生嘉和、三浦英子、中村敏枝、須田新藏、舟山克美、櫻田祐子(仙台市都市計画審議会委員) 高橋直子(仙台市若林区民生委員推薦準備会委員) 武田美江子、三澤よし江(仙台市救急業務基本問題検討会委員) 久志本成樹(仙台市就学支援委員会委員) 川村和久(仙台市文化財保護審議会委員) 佐々木理(仙台市博物館協議会委員) 尾崎彰宏

市政トピックス

田中選手・浅村選手に「賛辞の楯」贈呈



▲賛辞の楯を手にする田中選手(右)と浅村選手(左)

東京2020オリンピックの野球で金メダルを獲得した東北楽天ゴールデンイーグルスの田中将大選手・浅村栄斗選手の功績をたたえ、12月4日に楽天生命パーク宮城で「賛辞の楯」を贈呈しました。また、当日は赤間市議会議長からも「仙台市議会議長特別表彰」が行われました。

市政トピックス

児童が高齢者の身体機能や気持ちを体験

小学生向け介護・福祉出前授業「Date Care Kids」が、11月に鹿野小学校と中田小学校で開催されました。これは要介護者体験などを通じて、高齢者への適切な接し方や地域における支え合いの大切さを伝えようと、市内の介護関係8団体と市が組織する「仙台市介護人材確保取り組み実行委員会」が企画したものです。11月26日に中田小学校で行われた授業には、3年生87人が参加。



▲高齢者疑似体験の様子。高齢者疑似体験のメカニズムを説明する様子

高齢者疑似体験キットを装着した児童が歩行体験を行いました。高齢者役の児童は視界の狭さや歩さにくさを体感するとともに、介護役の児童も相手の立場に立った援助の大切さを学びました。また、認知症を題材にした絵本の読み聞かせも行われ、高齢者の気持ちを理解し、思いやりの心を育む機会となりました。

市政トピックス

医療提供体制に関する懇話会を開催

県が公表した、仙台医療圏4病院(宮城県立がんセンター・宮城県立精神医療センター・仙台赤十字病院・東北労災病院)再編の方向性等について意見を聴取する「仙台市の医療提供体制に関する懇話会」の初会合が11月29日に行われ、医療関係者や地域住民等からなる委員が本市の医療提供体制や医療需要等について、意見交換を行いました。懇話会は4回の開催を予定。いただいた意見を踏まえ、本市の考えを整理し、3月末までに県に改めて提示します。

3.11震災文庫を

東日本大震災を語り継ぐための市民図書館に設けた「3・11震災文庫」。所蔵する約1万冊から、よりの本を、紹介します。



標葉隆馬/編 ナカニシヤ出版 刊



筒井大介/編 創元社 刊

「『記憶』と『語り』」

「『あの日からの或る日の絵とことば』」

あの日から多くの物語が紡がれてきました。マスメディアによる大きな物語、そして10年たった今では、そこには登場しなかった人たちのたくさんの小さな物語が、被災地内外のさまざまな場所でも語り、大切に守られてもいます。

失われてしまった言葉。記憶に留めていくことの難しさとともに、だからこそそれらを留めていかなければならないのだ、という筆者らの強い想いが伝わってきます。

それでも、「語られないこと」はたくさんあります。「災禍をめぐる『記憶』と『語り』」では、多くの「語られること」の中に「語られないこと」があることを指摘し、語りにくさの構造の中で「語られるかもしれないこと」として抽出し、記憶を留めていくことの可能性について論じられています。

言葉に絡め取られないように、「語られないこと」、「語りにくさ」がさまざまな形で「語られ」て、私たちの記憶に残ってくれるといいなあ、と思います。

紹介した本は、市民図書館でご覧いただけます。問市民図書館 ☎261・1585